



Global Integrated Logistics Corporation

SANSTAR LINE



ABOUT US

顧客より先に考え 顧客より先に動く。

起業の目的は 物流利益の追求です。そして サンスター
又企業の利益が大きい目的です。しかしサンスターは
結果や過程などを重要と考えています。
誰がサンスターを負担し、被害を受けないサンスターの
パートナーは私たちと一緒に成功していくか？
サンスターの利益は国家の利益になりうるのか？
サンスターの社員達の業務行為は十分に健全なのか？
サンスターは地域経済と一緒に発展していけるのか？

今日より明日がより期待できる 人々が集まり 熱い心で 仕事をする, それが SANSTAR です。

このように、社会との共同体の中での役割につい
て企業は日悩み、また考えなければなりません。
このように目的と過程 すべてを重視し、よりよい
企業文化を共に創っていき、共に分かち合わなけ
ればならない。

貨物関連クライアントも、旅行に出かける顧客もサ
ンスターに会う瞬間から楽しく愉快になりますよう
願っています。このように心高鳴り、笑顔になれる
アイコンとして顧客の心に寄り添える企業でありたい
です。



誰も行かない道に行く SANSTAR! SANSTARが進むところが道となります。

新しい道を作っていく仕事をするとは、あまりにも
苦しく厳しいものです。しかし意志と能力, そして 実
力だけで企業を育てるためにはいつも、新しい挑戦
をしていかなければならない。

力を尽す仕事だが、そこにはそれだけの新しい機会
とやりがいに溢れています。
進む道に沿って出たり、他人と同じことをするのはサ
ンスターには似合わないです。新しい道の上で得る
新しい機会を一緒に分けてお互いが勝つ方法を見
つけ出すそれがサンスター！

HISTORY

“SANSTARが行くと道になります。
SANSTARがやると文化になります。”

2010's

- 2010 01 PKLB サービス開発
- 07 Sanstar Dream号導入
- 2011 07 敦賀 定期航路開設
- 2012 04 金沢 定期航路開設
- 08 Starlink One号導入
- 2013 09 東京-釜山航路 開設
- 12 Starlink Hope 導入
- 2015 12 釜山物流センター FDI
- 2016 02 農林部 表彰状授与
- 07 国土交通省 表彰状授与
- 10 横浜-釜山航路 開設
- 04 中国 国際定期運送 免許取得
- 10 東京-石島航路 開設
- 2017 04 FIATA 会員加入

2000's

- 2002 04 Panstar Dream号導入
- 04 大阪-釜山航路開設
- 2006 06 JIFFA 会員 加入
- 2007 11 大阪 通関免許 取得
- 03 旅行免許取得
- 04 Sunny号 導入
- 2008 05 PUE(Pansta Ultra Express) サービス
- 04 Honey号導入
- 06 鉄道貨物運送免許取得
- 12 東京通関免許取得

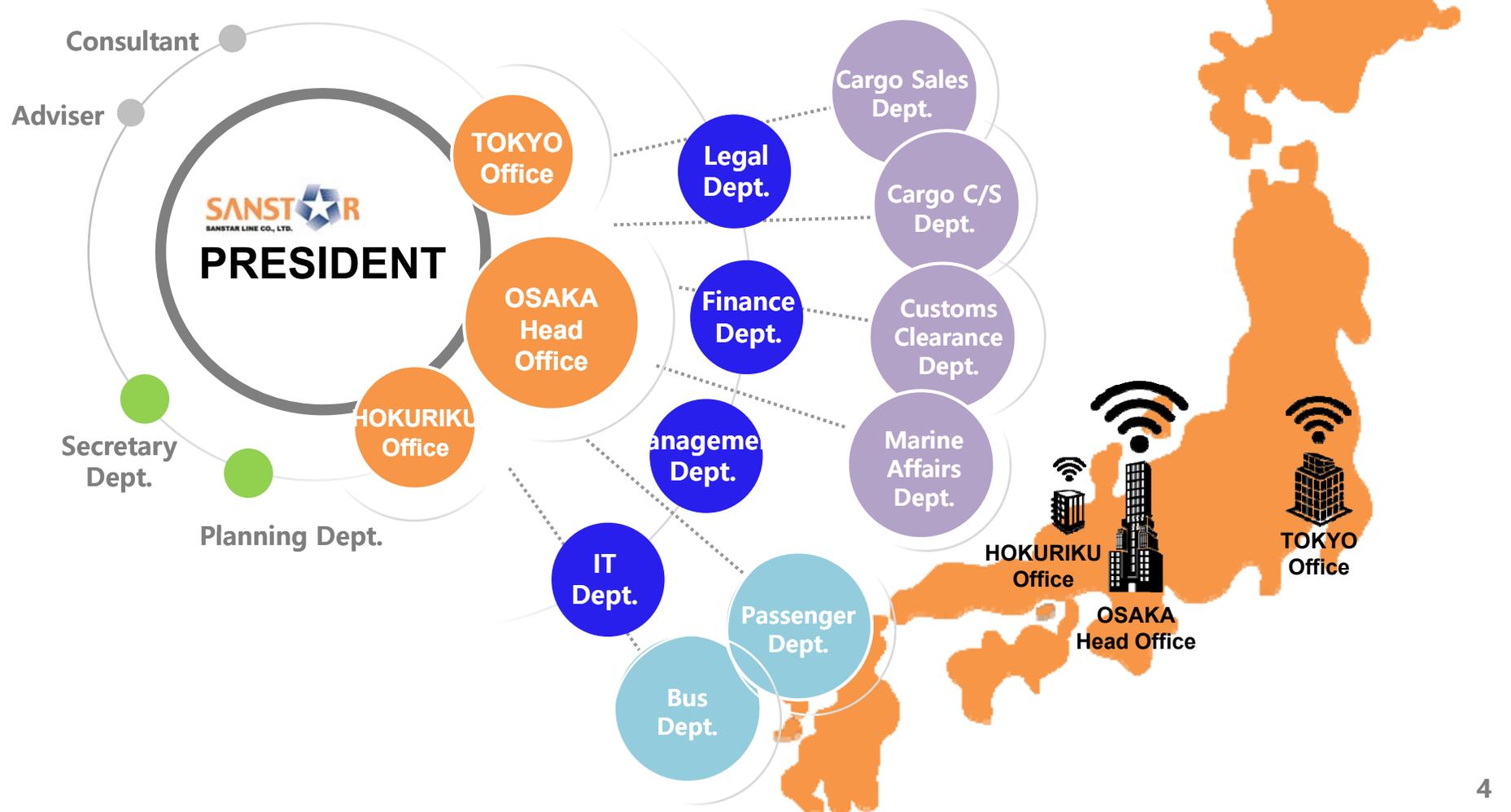
1990's

- 1999 08 サンスターライン設立
- 12 国際運送免許



ORGANIZATION

We are Connected One! 3つの地域 12の部署





BUSINESS OVERVIEW

お客様のための新しい物流ルート開拓者!



FORWARDING

サンスターラインは お客様に Worldwide サービスを提案するため自社の資産を保有 又は直接的に投資などを海上, 航空, 鉄道, トラック 運送及び, 倉庫, 港湾開設を通じ サービスを提案しています。



SHIPPING

サンスターラインは 約 12,000TON 級の自社 Ferry 船を 投入し、日本-韓国, 日本-中国, 日-韓-中間 AIRと LEAD TIMEの急送 サービスをテイサンしています。



AGENT SHIPPING AGENT

サンスターラインは Ferry船舶, Container船舶, PCC船舶, Bulk船舶 など さまざまな 他船社の代理店として、迅速で安全な船舶の入出港, 荷役業務を処理しています。



CUSTOMS CLEANCE

日本全域の総75,000余り 物流会社中東京で302箇所, 大阪で257箇所の会社だけが 自社通関の免許を持っています。サンスターラインは東京と大阪すべて自社通関免許を持っています。



MULTI TRANSPORT

サンスターラインは Ferry to Ferry, Sea&Air, Sea&Rail, Sea&Sea など自社資産と免許を 利用し、さまざまな物流ルートを開設し 東北アジア マーケットをリードしています。

INDIVIDUAL OPTIMIZED LOGISTICS SERVICE

サンスターラインの多様な 事業の構成は 各産業または 製品の特性, 顧客の環境などを配慮し, "個々の最適化" システムを構築しています。必要な場所最適な物流サービスを継続して開発しています。

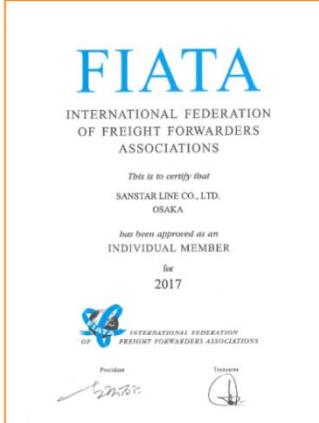
LICENSE



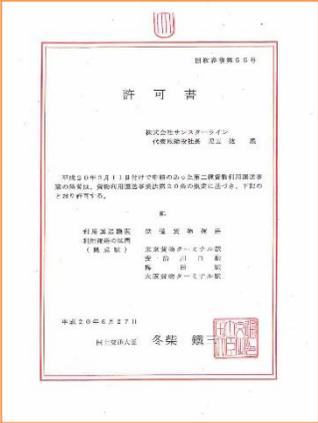
1 日本 Freight Forwarder Member



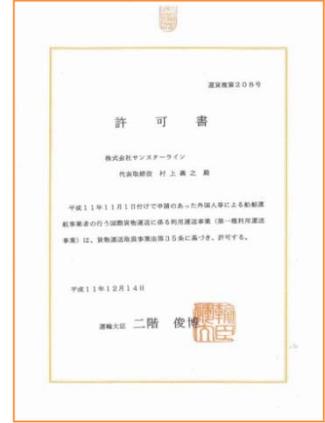
2 FIATA Member



3 鉄道 運送



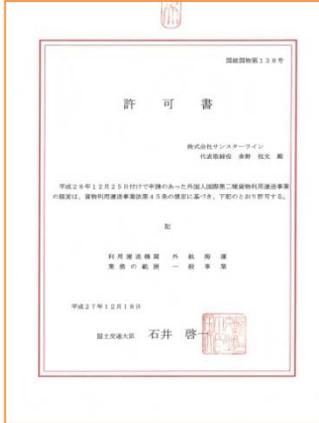
4 トラック運送



5 中国港に 定期運送 契約



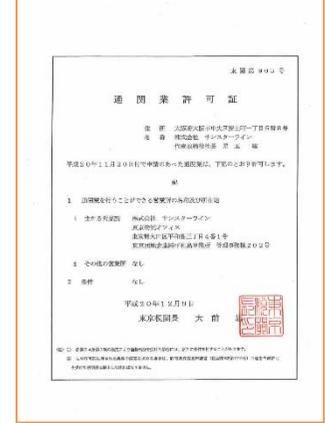
6 国際定期港へ運送



7 大阪通関



8 東京通関



取扱産業



SANSTAR LINEは
 全世界20余個産業の1,300余個会社と物流業務をやっています!

- | | | | |
|---|--|---|---|
|  01 電気製品 |  06 造船・プラント |  10 食品産業 |  15 生動物輸送 |
|  02 機械産業 |  07 自動車 |  11 飲料 |  17 美容 |
|  03 化学産業 |  08 建設装備 |  12 繊維 |  18 文化 |
|  04 鉄鋼産業 |  09 建設資機材 |  13 家具 |  19 医療 |
|  05 ロボット産業 |  09 製紙産業 |  14 再生産業 |  20 E-Commerce |

GLOABAL NETWORK



- ❖ SANSTARは 最先端の物流システムを通じ、全世界 30カ国余りの 主要港湾と空港を繋ぐグローバルネットワークを構成しています。
- ❖ SANSTARは 顧客と海外ネットワークの 流費用削減と 顧客一人ひとりに最適な物流サービス提供のため持続的投資をしています。

SERVICE INSTRUCTION



SEA



AIR



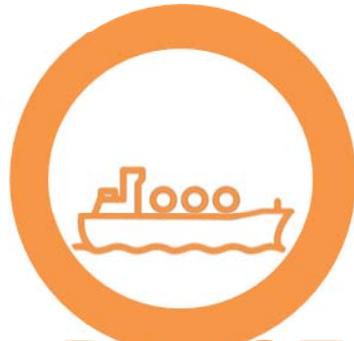
RAIL



TRUCK



WAREHOUSE



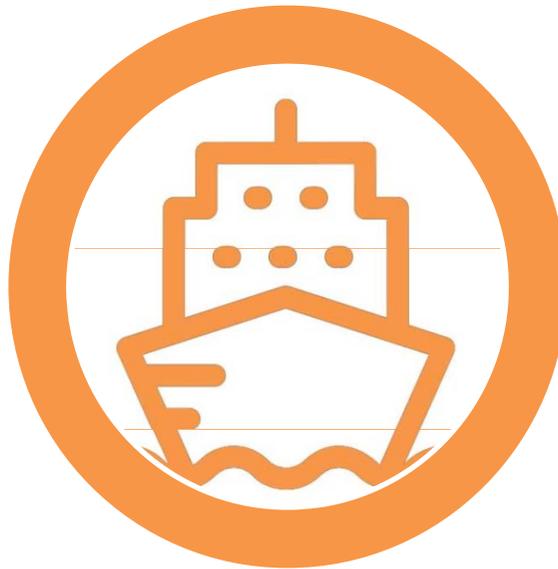
BARGE



CHARTER



**CUSTOMS
CLEARANCE**



SEA FREIGHT

SEA FREIGHT

SERVICE INTRODUCTION

- 01 全世界 20カ国余りの主要港湾とネットワーク形成している日本メージャーフォワーダーの中のひとつです。
- 02 船社として日本-中国-韓国間を運行しています。



FCL (Full Container Load)

サンスターは Standard, Special, ISO Tank Container, Flexibag など 顧客の多様な種類の貨物を 世界各地まで 迅速且つ安全なサービスを提供しています。

LCL (Less than Container Load)

日本 Main Portで 自社 CONSOL サービスを提供しています。特に、日本の高い物流原価を削減するため、他国家 Hub Portで Reforwarding 作業も 実施しています。

Break Bulk

Ferry船舶などを利用しさまざまな 大量のBulk貨物を輸送しています。特に、半導体装備, 建設機械, プレス機械等 コンテナ化出来ない貨物に対し 定期 Bulk 輸送をしています。

SEA FREIGHT

SERVICE ROUTE 1 : JAPAN~KOREA



サンスターは自社通関免許を、当日通関 当日荷役 システムを構築し、
 自社FERRY船舶で日韓を 18時間で運行するなど、
 日韓 Door to Door Lead Time⁰¹を二日間で可能し超特急サービスを開発します。

SEA FREIGHT

SERVICE ROUTE 2 : JAPAN~KOREA~CHINA





AIR FREIGHT

AIR FREIGHT

SERVICE INTRODUCTION

- 01 全世界にある多数の航空会社と戦略的業務提携
- 02 Sea & Air Route 開発



サンスターラインは 航空運送を半導体生産のため、精密機械、危険物、腐敗しやすい農産物、E-commerce製品などさまざまな製品を運送 Know-howを 基盤にしています。特に、多数の航空会社と戦略的に業務提供をよりよくするための開発に全力を尽くしています。



長距離運送の場合、あるいは日本から中国までエアで運送する場合、日本から Directで出発する Air Freightが高い場合が多いです。この物流費用を抑え、同じLead Timeを実現するため、サンスターは韓国の Incheon Air Portを Hubとする Sea & Air Routeを開発し、サービスを提供しています。





**RAIL
FREIGHT**

RAIL FREIGHT

SERVICE INTRODUCTION

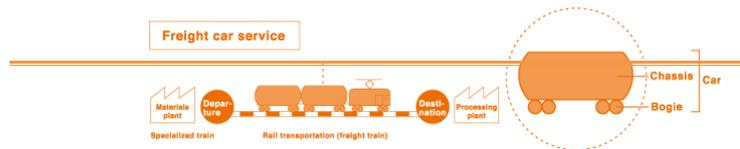
- 01 75,000余りの物流会社中 1,000社が鉄道運送
- 02 PUE物流ルート開発



日本 国土は南側から北側まで約 3,000kmです。
1870年代から 鉄道開発を開始し現在まで主要運送手段として利用されています。
日本全域に150余りの貨物駅があり、日本全域に貨物鉄道運送をわずか1日で運送します。

日本全国の物流会社の中で、約 1.3% が鉄道運送免許を持っているが、サンスターもその中の一社です。

特に自社フェリーServiceと 鉄道輸送を連結し、韓国から日本の各地域までわずか2day で輸送を可能にしている Panstar Ultra Serviceを開発し、Air 運送の代替している。



A large orange circular icon containing a stylized white outline of a truck with a cargo box and a driver's cab.

LAND FREIGHT

LAND FREIGHT

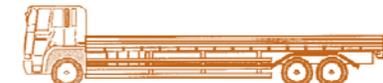
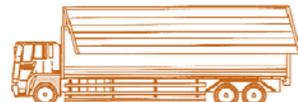
SERVICE INTRODUCTION

- 01 Door to Door サービス
- 02 精密機械のためSpecial Vehicles運送ノウハウ



サンスターラインは、道路交通法の規則 また 管理監督が徹底している日本で、法則を順守してでも日本全域からお客様が望む支店で 適材適所の車両配車と 混在サービスなどを通しお客様に Doorサービスをしています。

一般的に Container Drayage 運送 また ISO Tank 運送, OGG Container 運送 また 各種 車両運送に数十年間のノウハウとシステムを構築しています。
特に 精密機械の運送のため、日本無菌室工場から輸入国の無菌室工場まで Throughで 運送する Air-Suspension (無振動 恒温恒湿車両) 一括運送サービスを実施



A large orange circular icon containing a stylized line-art illustration of a warehouse building with a gabled roof and a loading dock. Inside the dock, there are two stacked boxes and a pallet.

WAREHOUSE

WAREHOUSE

SERVICE INTRODUCTION

- 01 日本 Main Portで CFS 倉庫運営
- 02 釜山新港 物流センターに FDI



サンスターは日本 Main Portに CFS 倉庫を運営し、日本全域に物流ネットワークを構築しています。単純な Stuffing, Devanning, 保管作業だけでなく入出庫, 注文, 在庫管理に至るまで、お客様の Needsに合った SCM 管理を最大化できるよう企てています。

特に サンスターは アジア Hub Portで定着している釜山新港大型物流センターに FDIを通し進出しました。最新物流システムの構築と専門人材の配置により3カ国物流の前進機転としています。

Total Measurement L 40,016 m²

- Warehouse 1st Floor 16,529 m²
- Warehouse 2nd Floor 9917 m²
- Yard : 23487 m²



BARGE TRANSPORT

BARGE TRANSPORT

SERVICE INTRODUCTION

- 01 日本は 6,800余りの島で成り立っている国家
- 02 道路交通制限が多い Barge運送のスキルが必須



日本は数千もの島でできており、各 地域ごとに固有の産業が均等に分布している。
 また 道路交通法律に基づく道路運送の制限が多く、例外を認めておらず、
 道路交通法に対し知識及び 日本国内のBarge運送のSkillが必ず必要です。
 サンスターは 10年間 さまざまな顧客の多様な貨物のBarge 輸送 know-howを持っています。





MODULE TRANSPORT

MODULE TRANSPORT

SERVICE INTRODUCTION

- 01 成熟した造船及び プラント産業
- 02 大型プラント輸送のため 特殊運送整備



熾烈したプラント誘致産業の中でも 完成した技術力を通し High-Tech プラントの 輸出 じ 時速力を占有している日本でサンスターは大型プラントを輸送できる特殊運送設備の一つ Module Transporter についてKnow-howを兼ね備えています。





CHARTERING

CHARTERING

Forebody	Accomodation	Power Plant	Steel Plate	Various B. Bulk
----------	--------------	-------------	-------------	-----------------



N.Weight 7,200 tons
Length 110m, Width 43m



南米Mega Block Project

Bulk船の中でももっとも特殊な船舶として蓄積された Know-howがなければ handlingすることができません。Bulk船舶が潜水して Mega Blockを扶養しています。

-
- 01 サンスターは南米最大の造船所と 3PL 契約を締結
 - 02 Drill ship 及び Tanker Ship Blockを 定期 輸送
-

CHARTERING

Forebody	Accomodation	Power Plant	Steel Plate	Various B. Bulk
----------	---------------------	-------------	-------------	-----------------



南米 Mega Block Project 2

本船 クレーンにてLiftingできない重量 または大きさの Blockに対して海上クレーンを船籍する方法でさまざまな Combine Planning経験を持っています。

- 01 さまざまなシミュレーションで Ship Block輸送に対し最高のノウハウ保有
- 02 造船所の岸壁など環境にごとに適正船舶選択 及び 船籍方法を提案

15,000 M.tons
Length 45m, Width 20m



CHARTERING

Forebody	Accomodation	Power Plant	Steel Plate	Various B. Bulk
----------	--------------	--------------------	-------------	-----------------



Length 60m



中東発電所 Project

本船 クレーンを利用し、長軸貨物のLiftingのため誤差のない計算が必要です。

サンスターは専門的な知識と協力関係を築くことで発電所物流市場を持続的に拡大しています。

- 01 Lifting Plan 構成や実際の荷役作業までSupervising
- 02 事前に完璧な PlanningでNon-Stop作業を成就。

CHARTERING

Forebody	Accomodation	Power Plant	Steel Plate	Various B. Bulk
----------	--------------	-------------	--------------------	-----------------



ヨーロッパ Steel Plate Project

N. Weight 30,000M.tons

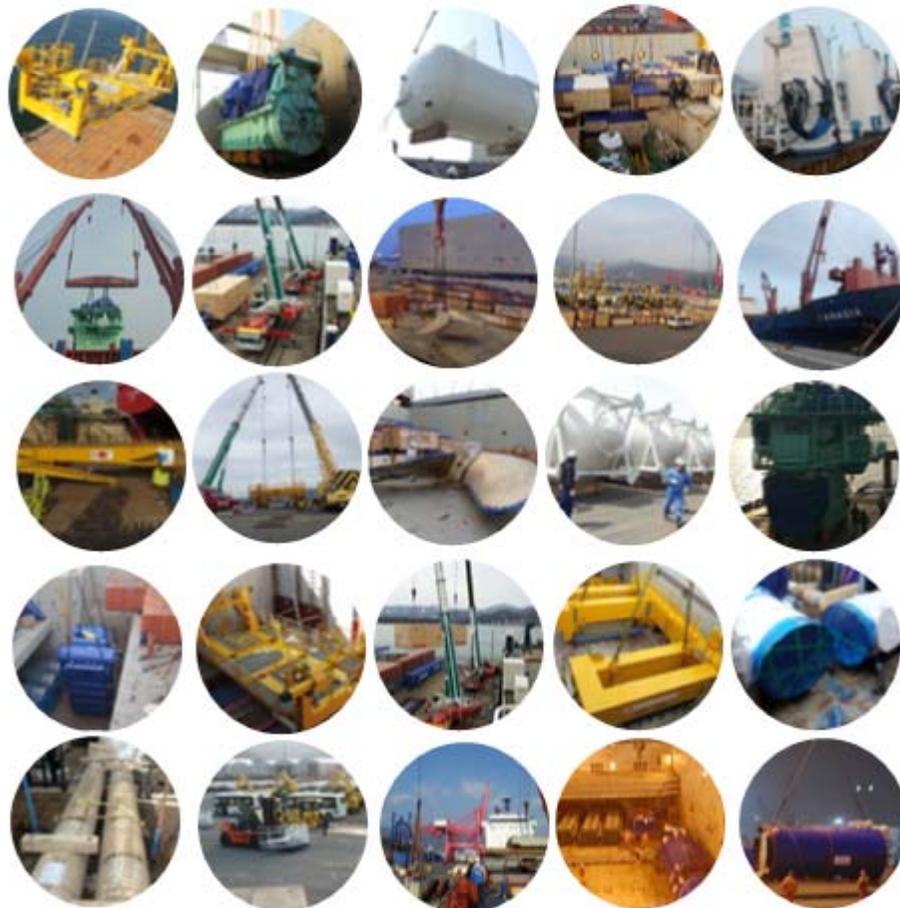
大量の物量を一度に船籍及び輸送するため迅速な荷役作業で On Time スケジュールを遂行しています。

- 01 長期間の荷役及び臨時保管場所の確保を遂行
- 02 各関係者と協業を通し迅速な作業を遂行



CHARTERING

Forebody	Accomodation	Power Plant	Steel Plate	Various B. Bulk
----------	--------------	-------------	-------------	-----------------

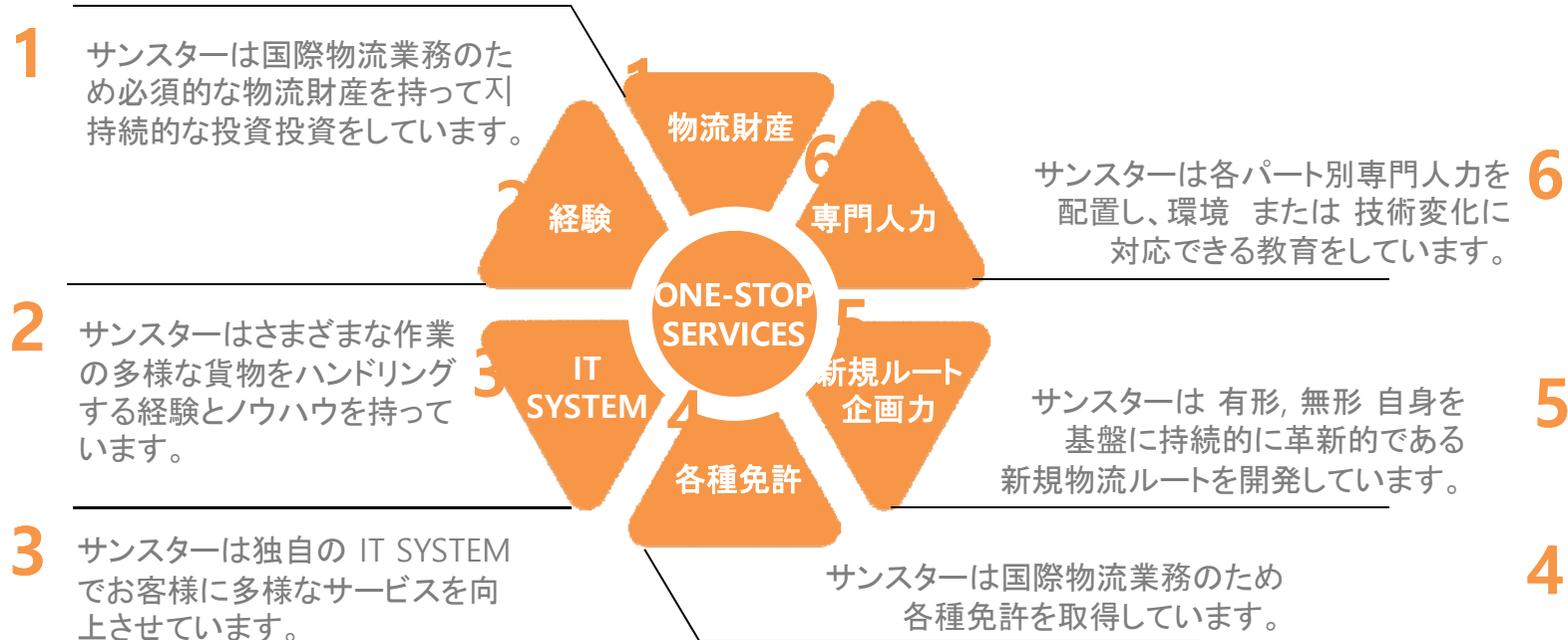


**VARIOUS
HEAVY LIFT
VESSEL**

多様な Project BULK

サンスターは 各荷主の貨物の特徴, 各国家 または 各工場の作業環境, 天候, 最新物流手段 及び 技法, 物流ソリューションなどを考慮し、新規の投資などを通し、顧客が安心して信頼できる多様なBulk船 チャーター業務を遂行しています。

COMPETITIVENESS



PERFORMANCE, 2016

SEA FREIGHT volume as Forwarder : 82,000 TEU
 SEA FREIGHT volume as Shipping Carrier : 135,000 TEU
 BULK volume : 520,000 m.tons
 Consolidation volume of LCL : 3,500 TEU
 AIR FREIGHT volume : 2,400 tons





JAPAN

OSAKA Head Office

Osaka Kokusai B/D 7F, No. 3-13, Azuchimachi 2-Chome , Chuo-Ku, Osaka, Japan
Tel : +81-6-6267-9779
Fax : +81-6- 6267-9766

TOKYO Office

Daiichi Ginza B/D 7F, No 12-18, Ginza 7-Chome, Chuo-Ku, Tokyo, Japan
Tel : +81-3-3544-5123
Fax : +81-3-3544-5126

OSAKA Terminal

Osaka International Terminal, 1-20-52, Nanko-Kita, Suminoe-Ku, Osaka, Japan
Tel : +81-6-6614-2516
Fax : +81-6- 6614-2518

KANAZAWA Office

Yoshihara B/D 1F, 2-40, Nishi-To, Kanazawa,, Japan
Tel : +81-76-254-6884
Fax : +81-76-254-6885



Thank you very much!